

神辺小だより

平成31年3月18日 発行
亀山市立神辺小学校
亀山市太岡寺町1310番地
NO.12 (文責：清水)

3月も中旬、めっきり春めいてきました。体育館横の彼岸桜は今が見頃です。2月には、寒さによって、外遊びを控えていた子ども達も、長い休み時間には校庭で元気に遊ぶ姿が見られるようになってきました。

さて、学校では、先日開催しました「6年生を送る会」「卒業記念セレクト給食」に続いて、卒業式の練習が仕上げの段階に入りました。6年生では、卒業記念品（マガジンラック）の製作に続いて、現在は、「卒業文集」の最終段階中です。例年のことですが、卒業に向けて、6年生はあわただしくも大切な日々を過ごしています。

他の学年においても、今週の内には6年生と合流して卒業式の練習に入ります。1年生から参加して全校で6年生を送り出すことができるのも、お世話になった在校生にとってはうれしいことでしょう。厳粛の内にも華やかに卒業の式典が挙げていきますよう、職員一同取り組んで参ります。

4年生が社会見学に行ってきました

2月26日(火)、4年生が社会見学に行ってきました。まず、四日市市立博物館でプラネタリウム見学をしました。月や太陽、星の動きなどについて学習しました。続いて、四日市港ポートビルを訪問。ポートビルが三重県で一番高い建物で、高さが100メートルあることを知って、子どもたちは驚いていました。天気にも恵まれ最上階からの展望はとてもきれいで、四日市港を一望することができました。

その後、AGF鈴鹿工場でインスタントコーヒーの製造工程を学びました。おいしいジュースとお土産を頂戴し、気分良く帰路につきました。



みんなが楽しんだ6年生を送る会



3月1日(金)、6年生を送る会を行いました。前半は、各学年が趣向を凝らした出し物で、1年生は歌やダンスをプレゼント、2年生は歌をプレゼントし6年生も肩を組んで歌いました。3年生は、6年生が勉強した物語を寸劇にして披露、大きな笑いを誘いました。4年生は歌と合奏でエールを送り、5年生はおもしろいキャラクターに扮して演じ・踊り、6年生に元気を贈りました。

後半は、5年生が企画した全校ゲームで、6年生対下級生(1年から5年までの各学年と先生がそれぞれ6年生と対戦)の綱引きやクイズが行われました。続いて、在校生からのプレゼント渡しがあり、その後、6年生からお礼の「ダンスUSA」が披露されました。短い時間でしたが、全校で楽しい時間が共有でき、とても印象深い「6年生を送る会」になりました。

卒業式の練習が仕上げに入りました

今、卒業式に向けて全校練習の仕上げの時期に入りました。練習から厳肅な雰囲気があり、小さい学年の児童もお行儀よく座っています。今は、式の流れを通して練習をしていますが、式の所作、呼びかけ、歌、みんな一生懸命です。6年生を送り出すための心遣いを感じられます。

一方、6年生は他の学年の見本になるような様子で練習に参加しています。他の学年よりも練習時間は長いのですが、姿勢良く・発声よく練習に参加しています。その中でも、証書をもらうときに言う「12歳の宣言」は、卒業に当たっての感謝の気持ちを述べていて、聞いている人の心を打つのではないのでしょうか。また、呼びかけの声と式歌「旅立ちの日に」も聞いていて気持ちが晴れやかになるようです。声の大きさには個人差がありますが、一生懸命に発声する姿が他の学年の見本になっています。6年生の保護者の皆様には、お子様の成長した姿を楽しみに、式典にご参加ください。



みえスタディ・チェック（三重県版学力調査）の結果が出ました

5年生が1月30日に受験しました「みえスタディ・チェック」の結果が出ました。この調査は4年生が学年はじめに1回、5年生が学年はじめと年度末に2回受験し、児童の学力の傾向をつかみ、学習指導や学力保障に生かすことを目的に実施しています。

さて、2月末日に5年生の第2回結果が確定しました。結果は資料のように、数値において5年生の学力の向上を確認することができました。これは、児童の皆さんの努力によるものですが、今まで学校と連携して取り組んでいただきました保護者やボランティアの皆さんのおかげであるとも考えています。他の学年においても、5年生と同様の取組みを継続して行ってきましたので、学力保証は進んでいるものと期待しています。この「みえスタディ・チェック」だけで、学力すべてを把握することはできませんが、数値は定量的な判断をする客観的な指標として考えています。

教科	算数		国語	
	4月実施	1月実施	4月実施	1月実施
学校の正答率	42.2	56.1	57.2	52.9
三重県の正答率	50.2	55.4	64.3	57.5
三重県との比較	-8.0	+0.7	-7.1	-4.6

算数科では、三重県平均を上回りました。基礎的な内容について習熟が進み、記述式の回答においても改善が見られました。

国語科では、前回よりも、三重県との差は縮まっています。漢字などの言語事項の向上がその一因です。一方、条件に合わせて記述する問題については、依然として困り感を持っている児童が多い傾向です。

このような結果をもたらした要因として、学校・家庭・地域の連携による学力保障の仕組みが整いつつあることが考えられます。児童は、学校で学習した内容を覚えていても、経年とともに忘れてしまいます。このことに対応しないと、次の学習を理解することが難しくなってしまいます。学校では保護者やボランティアの協力を得て、①児童の弱み傾向を調査し繰り返し学習する仕組み「算数カルテ」「金曜スタディ」を実施しています。また、言語事項の習熟を高めるため「朝のスキルアップ（水曜朝実施）」を行っています。これらの学習では、ボランティアの皆様が〇付けを行い、児童の個別の指導・支援を教員が行っています。また、②三重県ワークシートを主とした「チャレンジワークシート」を金曜日の家庭学習（2～6年）に取り入れ、「過去の学習内容に繰り返し向かい習熟を上げる」「記述式問題を解くことで活用力の伸長」を図ってきました。

次年度においても、継続して同様の取組みを行って参ります。引き続き、児童の学力保障の取組みに、それぞれの立場でご協力いただきますようお願いいたします。

ボランティアの皆さん ありがとうございます

学習ボランティア（授業支援・ゲストティーチャー・朝のスキルアップ・金曜スタディ）、図書館サポーター、花ボランティア、畑づくり、草刈りボランティア、登下校見守りボランティア等、本当にありがとうございました。学力保障、児童の安全・安心、学校の環境整備などに、ボランティアの皆さんは欠かせない存在です。4月からも引き続きご協力いただけると幸いです。